

(別添)

施工計画の評価内容

評価項目	品質管理方法の適切性 1. 工事を円滑に進捗させるための工夫
<p>現在、社会情勢による職人不足が全国的に深刻な問題となっており、人材の確保が原因で工事の遅れが発生してしまう恐れがある。そういった状況の中で、現場で工期を遅れさせないような調整や短縮方法などの工夫について提案を求める。</p>	
評価項目	品質管理方法の適切性 2. コンクリートの品質を確保するための工夫
<p>消防署はあらゆる災害時にも機能できるよう災害活動拠点としての耐久性が必要となり、特に建物躯体の品質確保について細心の注意を払わなければならない。躯体工事において、コンクリートの打設・養生等の精度や施設の機能上、柱スパンが広くなりPC梁を用いている箇所の品質管理方法について提案を求める。</p>	
評価項目	施工上配慮すべき事項の適切性 3. 周辺環境や安全対策に対する工夫
<p>工事による騒音、振動、粉塵が近隣の住民に及ぼす影響や農作物に対する日照、前面道路の交通の流れへの影響が懸念される。また周辺には河川が流れており、工事排水による水質汚濁も抑制する必要がある。以上のことから、施設建設時の周辺に対する十分な環境対策について有効な提案を求める。</p>	